

第4回 法人・学生向け

福島イノベーション・コースト構想地域の視察ツアー 廃炉・ロボット産業視察コース

福島ロボットテストフィールド
(試験用プラント)

福島イノベーション・コースト構想は、震災と原発事故によって失われた浜通り地域等の産業・雇用を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトであり、廃炉やロボット技術に関する研究開発、エネルギー関連産業の集積、先端技術を活用した農林水産の再生、人材育成などを通じて新たな産業・雇用の創出、交流人口の拡大等に取り組んでいます。本ツアーでは、構想における拠点施設等を巡り、地域の現状や構想への取り組みなどについて視察いただきます。



福島第一原子力発電所
(出典：東京電力ホールディングス)

福島ロボットテストフィールド(空撮)

福島ロボットテストフィールド(研究棟)

期間 **2020年1月27日(月)～28日(火)**
(1泊2日)

定員 **15名** ※申込みが多数の場合は抽選とさせていただきます

参加費 **無料** ※集合場所まで・解散場所からの交通費、前泊・後泊の宿泊費は自己負担となります。

申込締切日

2019年12月27日(金)

※本ツアーは、主に県外の企業、団体等の法人様・学生様向けモデルツアーとして実施いたしますので、個人でのお申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。

申込方法

① <https://www.fipo.or.jp/news/4991>

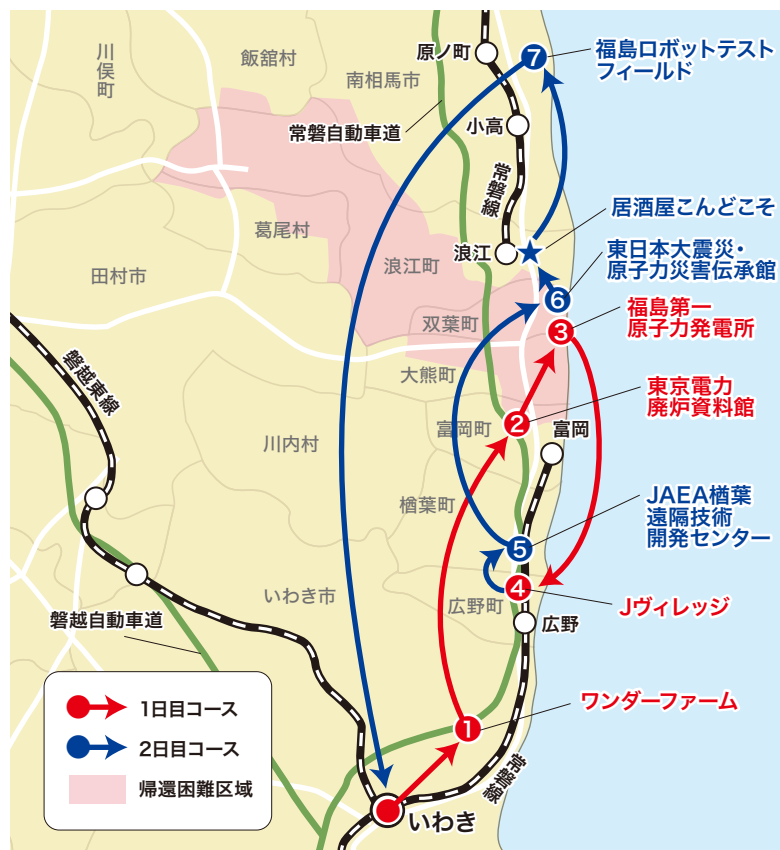
にて申込書をダウンロードしてください。
(右記QRコードからも直接アクセスできます)

② 申込書を shisatsu@fipo.or.jp へお送り下さい。



視察ツアー2019年度全日程

第1回 先端農業視察コース	2019年11月28日(木)～29日(金)
第2回 リスクマネジメント研修コース	2019年12月3日(火)～4日(水)
第3回 再エネ先駆地の地ふくしま視察コース	2019年12月19日(木)～20日(金)
第4回 廃炉・ロボット産業視察コース	2020年1月27日(月)～28日(火)



※本事業は復興庁の「福島再生加速化交付金」を活用して実施しています。

1 日目 ● 1月27日(月)	<p>10:30集合/10:40出発</p> <p>《集合》いわき駅(いわき市)〈貸切バス〉———《昼食と説明会》ワンダーファーム(いわき市) ——</p> <p>※接続例:上野08:00特急ひたち3→いわき10:23</p> <p>① 取組紹介と森のキッチンでこだわりのトマト料理の昼食</p> <p>—《視察案内》東京電力廃炉資料館(富岡町)———《視察》福島第一原子力発電所(大熊町・双葉町)</p> <p>② 福島第一原子力発電所視察の説明・専用バスへ乗り換え</p> <p>③ 廃炉措置の現場を視察</p> <p>—《質疑応答》東京電力廃炉資料館(富岡町)———17:20《宿泊》Jヴィレッジ(楡葉町・広野町)</p> <p>● 質疑応答</p> <p>④ 会議・学会の会場視察</p>			
	<p>2 日目 ● 1月28日(火)</p> <p>9:00出発</p> <p>Jヴィレッジ(富岡町)———《視察》JAEA楡葉遠隔技術開発センター(楡葉町)——</p> <p>⑤ 遠隔操作ロボット等の開発実証施設を視察</p> <p>—《視察》東日本大震災・原子力災害伝承館建設現場(双葉町)———《昼食》居酒屋こんどこそ(浪江町)</p> <p>⑥ 建設現場をご案内</p> <p>★ 郷土料理の昼食</p> <p>—《視察・体験》福島ロボットテストフィールド(南相馬市)———17:00《解散》いわき駅(いわき市)</p> <p>⑦ ふくしまみらいビジネス交流会ロボットテストフィールド視察ツアーに参加</p>			

※宿泊:【Jヴィレッジ】1泊2食付、シングル(楡葉町大字山田岡字美シ森8)TEL:0240-26-0111

① ワンダーファーム

5haの広大な敷地で12品種約9万株のトマトを年間1,500t生産する一大生産施設。半分の2.5haがワンダーファームと呼ばれるトマトのテーマパークで直売所やカフェ、レストラン、BBQもできる広場等もあり休日には親子連れで賑わいます。ロボティクス化・IoT・AIの取り組みも行っていきます。

② 東京電力 廃炉資料館

原子力発電所事故の事実と廃炉事業の現状等を伝える施設として18年11月30日開館しました。映像やジオラマ等を通じて、事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を伝承するとともに廃炉の全容と最新の状況を説明しています。

③ 福島第一 原子力発電所

東日本大震災の津波により電源が喪失、燃料が溶融し放射性物質を大気中に放出。原子炉建屋も水素爆発により損壊。現在は、様々な対策により周辺環境への影響は大幅に低減され、安全を最優先に廃炉措置が進められています。

④ ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ

97年に日本初のサッカーナショナルトレーニングセンターとして開設。原発事故後、事故収束の対応拠点となりました。19年4月に全面再開。49haの敷地には、全天候型を含む11面のピッチや企業研修、会議、国際規模のシンポジウムまで幅広い用途で使用可能な会議室・ホールを備えています。

⑤ JAEA楡葉遠隔技術開発センター

福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作ロボット等の開発実証施設として整備され、16年4月に開所した施設です。施設・設備は廃炉に限らず幅広い利用が可能で、遠隔技術開発の拠点を目指しています。

⑥ 東日本大震災・原子力災害伝承館

原子力災害を中心とした資料を収集・保存し、展示・プレゼンテーション・研究及び研修に活用することにより、震災の記憶の風化防止のための情報発信や防災・減災に役立てるための施設です。20年夏の開館を予定しています。

⑦ 福島ロボットテストフィールド

陸海空のロボットの研究開発等を行う世界に類を見ない一大研究開発拠点です。約50haの広大な敷地に来年春までの全面開所を目指し建設を進めています。ロボットの国際競技大会「World Robot Summit 2020」のインフラ・災害対応分野競技を来年8月に同施設内で開催します。

【諸注意】①本ツアーは、参加者の皆様にモニターとしてご協力いただく条件で設定されたものです。今後のより良いツアーの企画及び実施のため、ツアー終了時にアンケートへご協力いただきます。②今後、公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構などが作成するパンフレット類やWeb発信などに、ツアー中に撮影した写真・インタビュー内容・アンケート結果を使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。③個人情報の取り扱い:参加者様から頂戴した個人情報は、参加者様との連絡やその他視察ツアー催行に必要な範囲で利用させていただきます。

【お問合せ】 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

コーポレート部門交流促進部 担当:支倉(はせくら)、中戸(ししど)

〒960-8043 福島県福島市中町1-19中町ビル6階 TEL024-581-6882 FAX024-581-6898

(受付時間/9:00~17:00(土・日・祝除く))

<https://www.fipo.or.jp/>

